

三重県川越町議会

事績1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

地方分権の推進と住民意識の高まりに伴い、世間の議会に対する視線は厳しく、議会の果たすべき役割と責任は日々大きくなっている。

川越町議会では北勢5町や三重郡3町といった近隣町議会との議員間の意思共有や資質向上、事務局同士の連絡体制の強化に努めている。例年、合同で専門分野に特化した大学教授やジャーナリスト等の有識者を講師として招き、多岐にわたるテーマで研修を受け、普段とは違う視点からの知識・情報を習得できる機会を得ている。また、北勢5町議会では議長会議、三重郡3町議会では正副議長会議を開催し、各町議会様々な角度から物事をとらえた上で意見交換等を行い、多角的な視点や思考力を養うとともに、情報を共有し近隣町議会間の意思統一を図っている。

川越町単独でも毎年、議員全員と執行部1名により視察研修を行っており、議会改革だけではなく様々な分野の先進地を視察することにより議員の見識を深め、町の政策作りに寄与している。また、議会運営委員会等の委員会単位でも適宜視察を行い、議員一人ひとりの資質向上や議会全体の改革に努めている。

定例会毎に全員協議会を開催し、執行部からの情報提供や議員間の意見交換、一部事務組合の会議に出席している議員からの報告等を行い、互いの情報共有を行っている。また、必要に応じて臨時の議会運営委員会や議員協議会等を開き、議員間の意見交換や執行部からの情報提供、外部団体や執行部による勉強会等を行える体制を整えている。

現在、正副議長及び議会運営委員会を中心に議員の申し合せ事項の見直しについての協議を行っている。近隣の市町の動向を見据えつつ、日本及び世界情勢を鑑み、今の時代に見合ったものとなるよう内容を精査し、円滑かつ合理的な議会運営に繋がるものとなるよう、来年に控える議員選挙に向け検討を続ける。